

トラブル
を防ぐ

親子で考えよう！

家庭でのネット利用のルールづくり
〈ルール例〉

- 1 スマホやゲームで遊ぶのは1日 時間までにします。
- 2 アプリをダウンロードするときや、アイテムを買うときは必ず に相談します。
- 3 スマホやゲーム機は する時は使わない！



スマホ、ネットの
危険って何？

子どもがゲーム
依存で心配。

フィルタリングは
どうやるの？

メディア安全指導員を派遣します！

PTAで
話を聞きたい。



幼児の保護者
に知ってほしい。

雲仙市教育委員会では、長崎県メディア安全指導員（長崎県が実施したメディア安全指導養成講座を修了した指導員）を派遣します。最新の情報を元に、子どもがメディアと快適・安全に接するために必要な知識を身につけ、家庭、学校、地域全体で子どもたちの健やかな成長と、明るい未来を守りましょう。

長崎県メディア安全指導員の派遣お問い合わせは...

雲仙市教育委員会生涯学習課 TEL0957-37-3113

子どもを

守ろう

ネット・メディアの **危険** から！



私たちの生活に欠かせないインターネットやスマートフォンなどのメディアと安全・快適に接するために、雲仙市 PTA 連合会及び雲仙市教育委員会にてメディア安全啓発に関する「雲仙市統一ルール」を作成しました。

大人は地域・家庭の宝である子どもたちを守るため、
子どもは大切な自分の未来、そして家族・友人を守るため、
以下のことを守ります！



雲仙市統一ルール

ルールその1

夜9時以降は、親が責任をもって使用させない！

ルールその2

親が責任をもって、フィルタリングを行う。

ルールその3

人の悪口や個人情報絶対書き込まない！

スマホ ネット 事件簿

あなたの軽い気持ちでおこした行動が重大なトラブルに、便利で楽しいスマホやネットも、使い方を間違えると大変なことに...

CASE 1 「軽い気持ち」での投稿が大変なことに



Aくんは、友だちとスーパーに行きました。Aくんは悪ふざけのつもりで、店内のアイスクリーム用の冷蔵庫に頭をつっこみ、その様子を友だちが撮影しました。その時の写真をSNSに載せたところ、後日、その写真が問題になり炎上。Aくんの名前や学校も公開され、警察が動く大問題になってしまいました。スーパーは被害届を提出し、Aくんは店側から、多額の損害賠償を求められることとなりました。

① ネットの情報は完全には消せない！投稿前によく考えて

ネットに一度公開した画像は、コピーが繰り返されて拡散し、その画像に一生悩まされる可能性があります。また、このようなことがきっかけで、店が閉店するなどの実被害につながることもあるので、不適切な行為を行ったり、ネットに公開しては絶対にいけません。

CASE 2 わたしが被害者になるなんて...

守ろう個人情報



Bさんは、SNSを通じて知り合った男性と親しくなりました。男性から顔写真を送るように言われ、優しくて良い人なので大丈夫だと思って送りました。その後、写真の要求がエスカレートし、怖くなったBさんは写真を送ることを拒否しました。すると、男性の態度が豹変し、男性に送った写真がネットに公開され、拡散されてしまいました。

① どんな相手でも写真を送ってはいけない

簡単に自分の写真を送ってしまうと、写真には位置情報がついているので、場所を特定されたり、悪用されたりするなど、トラブルや犯罪に巻き込まれることがあります。絶対に写真を送ってはいけません。また、写真だけではなく、名前などの個人情報※1についても、犯罪やいたずらに使われたりトラブルに巻き込まれることがあるので、絶対に公開しないようにしましょう。

※1 個人情報とは個人を特定できる情報のことです。例えば顔写真、名前や住所、学校名、パスワード、IDなどが個人情報に含まれます。

守ろう！

スマホ・携帯ゲーム機のネットルール

- 無責任な投稿はしない ●友だちを傷つけるようなメッセージは送らない
- ネットで知り合った人には会わない ●自分の写真や個人情報は載せない教えない
- ながらスマホ禁止！利用時間を決めて生活リズムを守る

CASE 3 ネットの文字会話は伝わらないもの！



Cさんは、コミュニケーションサイトでクラスのみならずグループを作ってメッセージのやりとりをしていました。ある日、遊ぶ約束のやりとりをしていた際に、DさんがCさんに対して、「どういう手段で来るのか」という意味で「何で来るの!？」と送りました。しかし、Cさんは、「なぜ来るのか」言われたと勘違いをしたため、そこから行き違いが生じてしまいました。Cさんは、Dさんだけを外した新たなグループを作り、そこで「Dを無視しよう!!」と提案しました。その結果、Dさんはクラスメイトから無視をされるようになり、学校に行けなくなってしまいました。

① リアルもスマホも一緒に！自分がされて嫌なことは絶対にしない

ネットいじめは、リアルの世界では見えないけれど、深くその人を傷つけることになります。文字だけのやりとりでは勘違いや誤解が生まれやすいので、送信をする前に、誰かを傷つける内容ではないか、もう一度確かめましょう。気になることは面と向かってお話しをすることが大事です。

CASE 4 ちょっとだけ参加するつもりが...



Eくんは、ネット上の仲間とチームを組んで戦うオンラインゲームを始めました。最初は、夜寝る前に少しだけゲームに参加していたのですが、戦う敵が強くなるにつれて、徐々にプレイ時間が長くなっていきました。チームプレイなので、一度ゲームが始まると途中で抜けることができません、明け方まで続くことも多くなりました。そのため、生活のリズムが乱れてしまい、ちょっとしたことでイライラするようになりました。

① 利用時間を決めて生活のリズムを乱さない

長時間利用することで、睡眠不足など健康への影響だけでなく、朝起きられなくなったり、心がイライラしたりするなど、深刻な問題につながることがあります。親とネットの利用について「夜は〇時まで」とルールを決めて、その約束の中で利用するようにしましょう。

こんなことにならないためには、保護者と子どもが日ごろからスマホ・ネットについて話を交わす習慣が一番大切です。便利であるはずのスマホ・ネットで大切な人との人間関係を壊したり、自分や他人の健康・将来を奪うことにならないように気をつけましょう！